

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Feb 2013.2
No.1012



表紙 平成25年本別町成人式・
成人のつどい

社会の一員として 新たな一歩



水谷令子教育委員長

高橋正夫町長

方川一郎町議会議長



山岸郁美さん



阿部達也さん

オープニングセレモニー

本別義経太鼓保存会（藤川一三会長）の11人が、勇壮な祝い太鼓でオープニングを飾りました。

成人式典

開会のことば

国歌斉唱

町民憲章朗唱

式辞 水谷令子 教育委員長

水谷令子教育委員長は、「新成人の皆さんおめでとうございます。皆さんには、失敗しても取り戻す時間が十分あります。持ち前の好奇心と愛をもって柔軟な感性で自分の心に正直に、勇気をもって前に進んでください。若い力と行動力に期待しています」と式辞を述べ、新成人たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

激励のことば 高橋正夫 町長

方川一郎 町議会議長

高橋正夫町長が、「両親、家族、先輩、友人に感謝し、夢に向かって羽ばたく姿を実現してください」、方川一郎町議会議長が、「人と人との出会いや絆を大切に、感謝の念を忘れないで一步一步自らの道を信じて確実に歩んでください」と激励のことばを贈りました。

新成人誓いのことば 代表 山岸郁美さん

新成人を代表して、山岸郁美さんが「ここにいる仲間やご指導くださった先生方、地域の方々、そして家族の支えに心より感謝とお礼を申し上げます。今日の成人式という日を一つの節目とし、さらなる努力をここに誓い、これからの社会を支える一員として、志を新たに一生懸命頑張っていきます」と力強く宣言しました。

新成人交通安全宣言 代表 阿部達也さん

新成人を代表して、阿部達也さんが「スピードの出すぎなどの無謀な運転を慎み、交通ルールの遵守とマナーの向上に努め、飲酒運転は絶対にしない、させないことを徹底し、人にも環境にも優しい思いやり運転を心掛けます」と新成人交通安全宣言を読み上げました。

本別町歌斉唱

閉会のことば

記念撮影



社会の一員として新たな一歩

20歳の門出を祝う本別町成人式・成人のつどいが1月13日、中央公民館で開催されました。会場にはスーツや色鮮やかな晴れ着姿の75人の新成人が集い、旧友との再会を喜び合い、社会の一員として新たな一歩を踏み出しました。



再会を喜び合う新成人



会場には、元気くんも新成人のお祝いに駆けつけました

20歳の誓い

菅原麻央さん



成人を迎えて

成人を迎え、行動の幅が広がり自由を得るとともに、自分の全ての行動に対する責任の重みを感じます。私は本別町で生まれ育ち、幼いころから勉強やスポーツ、学校行事などの様々なことで多くの人と関わり、支えられて成長することが出来ました。本別町で生活する中で、楽しいことはみんなと共有し、つらいことはみんなと乗り越える強さを学び、今は町を出て進学し、夢に向かって頑張っています。

ひとり暮らしを始めて、今まで当たり前だったことがそうではなくなり、両親をはじめとする家族、友人などの周囲の人の大切さをあらためて感じます。

これからは、数えきれないほどの感謝と支えられてきた分を多くの人に恩返しできるように、より成長していきたいと思っています。最後に、今まで反抗していた時もある分、照れくさいですが、お父さん、お母さん、今まで育ててくれて、そして様々な経験をさせてくれてありがとうございました。まだまだ手のかかる私ですが、よろしく願いいたします。



永森祐太郎さん



日本を担う

この度、私たちはめでたく成人式という人生の一つの節目を迎えることができました。今まで関わってくれた方々に対して、ここまで成長させていただいたことをとても感謝しています。

さて、今年度新成人となった私たちには様々な権利が与えられ、それと同時に自分の言動にこれまで以上に責任を持つことが求められます。学生や社会人などといった立場はそれぞれ違いますが、社会に対する責任や貢献度、社会から求められる期待は成人となったことで大きくなることなのでしょう。また現在日本は、不安定な政治や低迷する経済など諸懸案を抱えており、この時期に私たち若い世代が担う役割はとても大きいのではないのでしょうか。

これからは私たちの世代が日本を引っ張っていかねばなりません。大袈裟に聞こえるかもしれませんが、一人ひとりがより良い日本を創っていくという意志を持つことが大切だと思います。新成人となった今、自分たちがこれからの日本を担っていくのだという気持ちを新たに、社会に貢献できるような大人になれるよう頑張っていきたいと思っています。

新成人おめでとう



かんぱーい！



みんなそろって、はいチーズ



最後の一本締めは新成人の中村知輝さん

成人のつどい

成人式式典終了後には、本別町青年協議会（富川寛弘会長）主催による「成人のつどい」が行われ、参加者らはビンゴゲームで盛り上がりながら、友人たちと会話を弾ませたり、写真撮影をするなど楽しいひとときを過ごしました。



乾杯の音頭は新成人の西山佳吾さん



ビンゴゲームの様子「次の番号は？」



スーツ姿でピシッと決めた男性陣



ビンゴゲームで特賞の32インチ液晶テレビを引き当てた、久保彩佳さん



ビンゴゲームの進行をする本別町青年協議会の皆さん

一緒にやってみましょう!



本青協は会員を大募集しています

本別町青年協議会は
平成25年度に創立50周年
を迎えます



成人のつどいで会場を盛り上げる会員



いきいきほんべつふれあい
祭りお手伝いの一コマ



通学路のゴミ拾いボランティア

1月13日に開催された「本別町成人式」。式典終了後の「成人のつどい」は、華やかに人生の門出を迎えた新成人の皆さんを祝おうと本別町青年協議会（富川寛弘会長）が企画運営を行っています。

昭和39年に発足以来、諸先輩が築き上げてきた伝統ある団体です。この間、まちづくりに貢献し、青年活動がまちづくりの原動力として、本青協から多くの人材を輩出してきました。一時は150人ほどの人数で組織されていたわが「本青協」も、今や、10人（農村青年、JA本別町職員）で組織されているのが現状です。

今も本別町商工会青年部、本別町農業協同組合青年部の皆さんや有志の若い人たちの活発で頼もしい活動が町内で展開されています。本青協もそれなりに頑張っておりますが、以前、会員減少が進んだことから町内各企業へ役員が会員加入を呼び掛けに歩いた努力もむなしく、その後減少の一途をたどっている現状です。

しかし、な、なんと町内には、これら団体に所属していないまだまだたくさんの方々がいらっしゃるので

情報の多様化や個人主義などから地域とのつながりを持たない青年が全国的に増えている状況の中で、昨今、地域と個人のつながりが弱くなってきているといわれています。とりわけ、かつては地域の活動の中心的役割を担っていた青年たちの地域や社会への参加が非常に少なくなってきている傾向にあります。実際に、青年活動は減速し、それまでの勢いを失い、多くのサークル、団体が消滅していったのです。

人づくり、住民参加、心豊かな暮らし、いずれも難しい課題です。これらを実現させるのは、やはり住民の意欲と知恵と力ではないでしょうか。これに対して、本別町青年協議会は何ができるでしょうか。

イベントに参加する。普段ふれあう機会のない人と知り合える。活動にはいろいろな人の出会いがあり、これがいよいよ勉強になっていくと思えます。

その活動の中で、自分自身を啓発し、実際に、イベントを企画したり、組織を運営したりすることで物事を地域の中で動かす時のルールを学ぶ。また、年長者はいつも青年が活躍し地域を担う人材が出てくることを願っています。地域において活躍する青年の姿が年長者にとっての希望となり、その期待に応えたい。さらに、若さゆえの活動力は子供

たちの憧れとなります。そのため、青年が地域で活動し、子供たちに楽しみを与えることは、子供たちの地域への愛着を生むと同時に、子供たちに将来の目標として地域で活躍する青年の姿を描かせることができます。

われわれ本別町青年協議会は、地域において青年でしか果たしえない役割が存在すると考えています。ぜひ一緒に活動しませんか？参加をお待ちしています。

住民基本台帳

2012年12月末人口	
18歳～29歳	
男	463人
女	289人
計	752人

お申し込み

本別町教育委員会 社会教育課 社会教育担当
(中央公民館内) ☎22-5111
メールアドレス koumink2@town.honbetsu.hokkaido.jp

緊急速報メールで

災害・避難情報を

お知らせします

で情報伝達方法の多様化を図り、さらなる「安全・安心」のまちづくりの充実を目指すとともに、災害による被害の未然防止に努めます。

町では、災害発生等の緊急時に、より確実な情報をいち早く町民の皆さんにお伝えするため、NTTドコモが提供する緊急速報エリアメール、au、ソフトバンクモバイルが提供する緊急速報メールの運用を開始しました。

情報伝達

これまで

町ではこれまで、災害発生時または災害が発生する恐れのある場合においては、避難や気象の情報などを、防災行政無線の屋外スピーカーや広報車両などを使用し、町民の皆さんにお知らせしてきました。

これから

今後は、これまでの情報伝達手段に加えて、新たに運用を開始した緊急速報エリアメール、緊急速報メールを活用すること

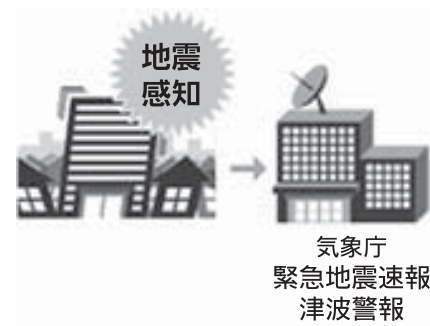
緊急速報エリアメール、緊急速報メールとは

気象庁からの緊急地震速報や町の災害・避難情報などを、携帯電話各社（NTTドコモ、au、ソフトバンクモバイル）が対象エリア（市町村単位）にいる皆さんがお持ちの携帯電話端末へ、一斉にメール配信するサービスです。

被災の恐れのある地域に一斉配信

- 携帯電話の全画面に自動的に表示されます。
- 緊急地震速報、津波警報、および災害・避難情報は、それぞれ異なる専用警告音で、お知らせします。
- 受信メールボックスに専用アイコン表示で保存されます。

※画面はイメージです



国や地方公共団体 災害・避難情報

町が配信する情報

避難準備情報
避難勧告
避難指示
指定河川洪水警報
土砂災害警戒情報

配信エリア

本別町一円

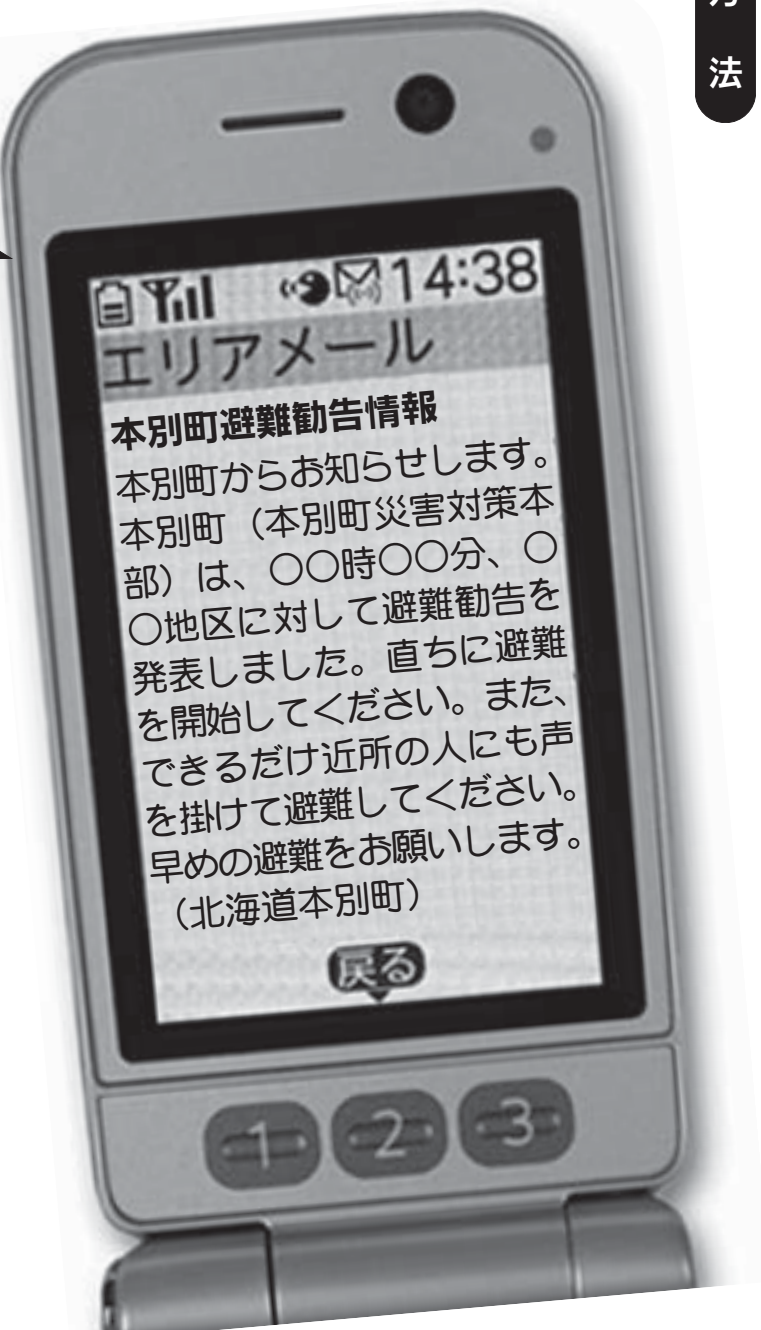
特徴

▼災害時の回線混雑の影響を受けずに受信することができま
▼多数の携帯電話に即時配信され
▼受信した際は、専用の警告音とともに携帯電話の画面に自動でメッセージが表示されま
▼エリア（町内一円）を特定した一斉配信を行うシステムの
ため、メールアドレスの事前登録等は不要です。また、本別町民に限らず、観光や仕事等で本別町を訪れている人にも配信されます

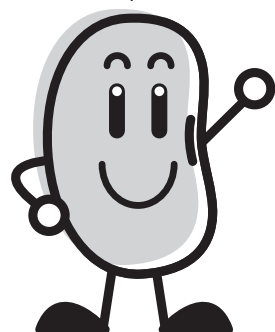
注意点

▼電源が入っていない、通話中、電波状態が悪い場合などには受信できません。また、受信できなかった場合、再受信はできません

受信例



このようなメールが送られてきます



問い合わせ

住民課環境生活担当 ☎011-812200



ノロウイルスによる 感染性胃腸炎に注意

ノロウイルスによる感染性胃腸炎患者が全国的に増加しています。発生は一年を通して見られますが、11月ころから増加し始め、春まで発生が多いので注意が必要です。

手洗い

手洗いが感染予防の基本です。手洗いは、調理を行う前、食事の前、トイレに行った後、感染者の汚物処理やオムツ交換等を行った後などには必ず行いましょう。



日ごろの
感染予防が
大切です

症状

潜伏期間は24～48時間です。主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などで、これらの症状が1～2日間続きます。

感染経路

ほとんどが、感染者のふん便や嘔吐物から人の手などを介して口から感染します。

ふん便・嘔吐物の処理

ノロウイルス感染者のふん便や嘔吐物などの汚物には、大量のウイルスが存在し感染源となりうるため、適切に処理しましょう。

- ①汚物は、使い捨てのマスクと手袋を着用し、ウイルスが飛び散らないようにペーパータオル等で静かに拭き取ります
- ②汚物が付着した床などは、消毒液①(0.05%次亜塩素酸ナトリウム)で浸すように拭きとり、その後水拭きをします
- ③拭き取りに使用したペーパータオル等は、消毒液②(0.1%次亜塩素酸ナトリウム)に5～10分浸した後、ビニール袋に入れ密閉後廃棄してください

※ノロウイルスは乾燥すると容易に空中に漂い、これが口に入って感染することがありますので、消毒後は換気を十分にしてください

①爪を短く切って、時計や指輪を外します

②手を水でぬらし、石けんをつけてよく泡立て、手指や手首を洗浄します

③流水で十分に汚れを流します

④ペーパータオルまたは清潔なタオルで拭きます

※タオルの共用は避けましょう
※石けんにはノロウイルスの感染力を失わせる効果はありませんが、手の脂肪等の汚れを落とすことにより、ウイルスを手指からはがれやすくする効果があります

消毒方法

ノロウイルスは、次亜塩素酸ナトリウム(市販の家庭用塩素系漂白剤を薄めたもの)や加熱(85度で1分以上)で消毒できます。

消毒液の作り方

一般的な家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム濃度約5%)を使用した場合の作り方を紹介します。

消毒液①

(0.05%次亜塩素酸ナトリウム)
500 mlの水に家庭用塩素系漂白剤5 ml(ペットボトルのキャップ1杯)を加えます。

消毒液②

(0.1%次亜塩素酸ナトリウム)
500 mlの水に家庭用塩素系漂白剤10 ml(ペットボトルのキャップ2杯)を加えます。

※ペットボトルのキャップ1杯は約5 mlです

※塩素系漂白剤の使用にあたっては「使用上の注意」を確認しましょう

国民年金 コナレ

その130

役場窓口でも 「ねんきんネット」 が利用できます！

インターネット回線を使用してご自分の年金記録を照会できる「ねんきんネット」が、役場窓口でも利用できます。照会した年金記録は印刷しお渡しいすることも可能です。ぜひご利用ください。なお、インターネット回線使用料および、印刷料は無料です。

必要書類等

基礎年金番号の確認できるもの(年金手帳等)、本人確認資料(運転免許証・健康保険被保険者証等)、印鑑をお持ちになり役場住民課戸籍担当窓口へお越しください。

ねんきんネットのメリット

①記録の「もれ」や「誤り」の発見が容易になります

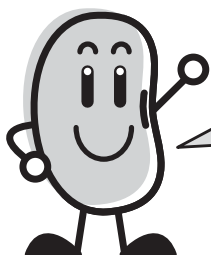
年金の加入・未加入、納付状況などが分かり

やすく表示されます。また、厚生年金加入の人は、その月の標準報酬月額なども確認できます。

②将来の年金額が試算できます

「年金を受け取りながら働き続けた場合の年金額」など、ご自身の将来設計に合わせた働き方の条件に基づく年金額を試算ができます。

未納だった年金保険料を、過去10年分までさかのぼって納められる制度が平成24年10月から(平成27年9月までの3年間に限る)始まっています。ねんきんネットを活用し、納め忘れの期間がないか確認しましょう。



ねんきんネットホームページ
http://www.nenkin.go.jp/n/www/n_net/

詳しくは

住民課戸籍年金担当へ

☎22-8128

HELLO 勇足中学校

全道大会で健闘

12/27

12月21日から24日に帯広市で開催された、第65回北海道高等学校スケート競技選手権大会兼第68回国民体育大会冬季大会スケート競技会北海道予選会に出場した藤本優羽さん（本別高2年）が12月27日、教育委員会を訪れ中野博文教育長に全道大会の結果を報告しました。女子500mと同1000mに出場した藤本さんは、入賞は逃したものの「2種目とも自己ベストを更新できたのでうれしい」と喜びを語り、中野教育長は、「一層練習に励んで上位を目指してください」と健闘をたたえました。



を更新できたのでうれしい」と喜びを語り、中野教育長は、「一層練習に励んで上位を目指してください」と健闘をたたえました。

日本一長いピザに認定

12/28

チームほんべつ111実行委員会With十勝ピザ立国チーム（前田茂雄代表）が日本一ネットから「日本一長いピザ」の認定を受けたことを12月28日、本別町農産物ものづくり館「ゲンキッチン」前で高橋正夫町長に報告しました。この認定は、昨年9月8日に同館前で実施されたピザ作りのイベントで、113m70cmの日本記録を更新したことが認められたもので、前田代表は「本別町がもらったものと考えてほしい」と述べました。同ネットから贈られた3枚の認定証は、役場と道の駅「ステラ★ほんべつ」、本別町農産物ものづくり館「ゲンキッチン」に飾られています。



剣道元旦稽古会

1/1

毎年恒例の剣道元旦稽古会（本別剣道連盟主催）が1月1日、町柔剣道場で開催されました。同剣連の鈴木清志会長が、「充実した1年を送れるように、目標に向かって剣道、勉強を頑張ってください」とあいさつした後、小学3年生から一般まで15人が、初稽古で爽やか汗を流しました。



目標に向かって剣道、勉強を頑張ってください」とあいさつした後、小学3年生から一般まで15人が、初稽古で爽やか汗を流しました。

北山れい カラオケ 歳末チャリティーショー

12/23

本別町出身の演歌歌手、北山れいカラオケ歳末チャリティーショー（北山れいふるさとカラオケ友の会主催）が12月23日、中央公民館で開催されました。ステージでは、北山さんがデビュー曲「女の海峡」などアンコールを含め全11曲を熱唱し約310人の観客を魅了したほか、カラオケ愛好家など14人の出演者が自慢の歌や踊りを披露。第1部終了後には、歳末義援金として収益金の一部（目録）が、北山さんから、柵村憲昭本別町共同募金委員会会長に手渡されました。



町長がおじゃまします

12/25

町民との直接対話「町長がおじゃまします」が12月25日、勇足西2区会館で開かれ、高橋正夫町長と勇足西2自治会（河野一紀会長）員5人が膝を交えました。懇談では、深刻な水不足による水道水確保の要望や農業情勢についてなど、基幹産業農業に関わる活発な意見が交わされました。高橋町長は、「水不足問題については、少し時間はかかるが解消していきたい」などと述べたほか、「農業で町の経済を支えてほしい。希望を持って頑張ってください」とエールを送りました。



勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靱で粘り強い体を鍛える

総合的な学習の時間「拓道」の紹介

一年「環境」から拓く
二年「地域」から拓く
三年「福祉」から拓く

本校の総合的な学習の時間は、全校共通で学習する時間以外に、それぞれの学年で課題を設定し、その課題を追究するべく学習を行っています。総合的な学習の時間は地域の方々のご協力を得て実施しています。次年度もご協力をよりよくお願い申し上げます。



1年生環境学習「水生生物の採集」



2年生地域職場体験学習「役場」



2年生地域職場体験学習「かねもり」



3年生福祉学習「高齢者疑似体験」

身につけさせたい4つの力

- ・ 見つける力
- ・ 表現する力
- ・ 追究する力
- ・ 見つめる力



1年生環境学習「水質検査」



2年生地域職場体験学習「からまつ」



3年生福祉学習「介護体験」



3年生福祉学習「車椅子体験」

市民後見人養成研修がスタート 117

平成24年度市民後見人養成研修（北海道主催）開講式が1月17日、総合ケアセンターで行われました。この日は町内の受講生17人のほか、町内外の福祉職場に携わる23人も研修に参加。講師より2つの成年後見事例が紹介され、地域の人を支える仕組みや後見業務の概要について学びました。研修は今後2月下旬まで計13回実施され、受講生は成年後見に関する法律や福祉に関する制度、政策についてさらに知識を深めます。



研修は今後2月下旬まで計13回実施され、受講生は成年後見に関する法律や福祉に関する制度、政策についてさらに知識を深めます。

勇中「環境教育」授業 118

勇足中学校（上田禎子校長、22人）1年生3人と1学年担当教諭4人が1月18日、帯広開発建設部の出前講座を利用した、環境教育授業に取り組みました。授業では、同建設部治水課職員が「河川水質の現状について」をテーマに、十勝川流域の水質や絶えない川での事故、同建設部の取り組みなどについて説明。

生徒らは、真剣な眼差しで話を傾けながら、環境が与える河川水質への影響などについて知識を深めました。



豪快な技で熱戦 120

本別町鏡開き少年柔道大会（本別柔道連盟主催）が1月20日、町柔剣道場で開催されました。大会は3部門の個人戦で行われ、幼児から中学生までの14人が参加。選手らは、足技や背負い投げなど豪快な技を繰り出しながら、優勝目指して熱戦を展開しました。大会終了後には後援会によるもちつきも行われ、選手らはお腹いっぱいにお雑煮やきなこもちなどをいただき、笑顔を見せていました。



大会終了後には後援会によるもちつきも行われ、選手らはお腹いっぱいにお雑煮やきなこもちなどをいただき、笑顔を見せていました。

スコーン、キャンドル作りで楽しい冬休み 19・11

小学生を対象とした冬休み子供ワクワク教室「料理教室」が1月9日、中央公民館で開催され、参加した11人が本別産小麦粉を使ったスコーン作りを楽しみました。1月11日には同公民館で工作教室も行われ、キャンドル作りには15人が参加。ジェルキャンドル、ランタンキャンドルの2種類をぎこちない手つきながらも完成させ、冬休みの思い出に残る楽しいひとときを過ごしました。



料理教室

子ども百人一首・将棋大会 110

本別町子ども会育成連絡協議会（久能利幸会長）主催の第19回子ども百人一首・第38回子ども将棋大会が1月10日、老人福祉センターと中央公民館で開催されました。百人一首大会には、小学2年生から中学3年生まで4組14人が参加し、札を取る「ハイ」という鋭い掛け声を会場に響かせたほか、将棋大会では参加した小学1年生から中学1年生10人が、真剣な対局を繰り広げました。



介護相談員 新たに2人 117

本別町介護相談員の委嘱状交付式が1月7日、役場で実施され、澤田満さん（柏木町）と原田弘子さん（新町）の2人に高橋正夫町長から委嘱状が手渡されました。2人は今後、町内の介護サービス事業所を訪問し、入所者やその家族などからの相談を通して、介護サービスの質の向上を図ります。今回の委嘱により本町の介護相談員は5人となりました。



昔遊びに歓声 119

「昔あそび体験」が1月9日、歴史民俗資料館で開かれました。日本に昔からある遊びを体験するこの企画には、1歳から小学2年生まで6人が参加。館内には、パッチやカルタ、おはじきなどの道具が用意され、子供たちは歓声を上げながら夢中で遊んでいました。最後は、昔の餅つき機で餅をつき、ついたお餅に砂糖醤油を付けてみんなでおいしくいただきました。



自己ベスト目指して 113

本別スケート協会（北口義美会長）主催の第51回本別町スピードスケート記録会が1月3日、町民スケートリンクで開催されました。記録会には、100歳から3,000歳までの6種目に幼児から高校生まで33人が参加。選手たちは、父母らの声援を受けながら自己ベストを目指し力強く滑走しました。



選手たちは、父母らの声援を受けながら自己ベストを目指し力強く滑走しました。

スケートに親しむ 114

幼児スケート教室（本別スケート協会主催）が1月4日、町民スケートリンクで開かれ、2歳から6歳までの7人がスケートに親しみました。

幼児らは、氷に苦戦しながらも、同協会指導者に手を引かれたり、イスを使うなど、楽しく身体を動かしてスケートの基礎を学びました。



無火災・無災害を誓う 116

本別消防団（遠藤利之団長）各分団出初め式が1月5日、6日に実施されました。6日午後2時のサイレン吹鳴とともに行われた第1分団（木下登美夫分団長、34人）出初め式では、遠藤団長が「今年を目指す目標は無火災、無災害。そのためにも、組織力を高め町民の安全確保に努めてほしい」と訓示を述べ、団員らは防火の決意を新たにしました。



引き続き、本別消防署前を団員と消防車両など7台が分列行進しました。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



錦町
山本 紗由 (真伊ママ)



勇足元町
中山 琥太郎 (真伊ママ)



負殿2
今野 葉月 (知恵子ママ)



清流町
内田 天梧 (真伊ママ)



南4丁目
西山 咲美輝 (美恵子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

ご寄付ありがとうございます

平成24年12月13日から平成25年1月21日

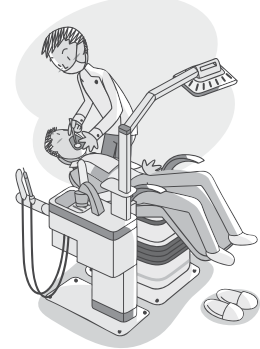
次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★図書購入費指定 金200,000円 ……南2丁目 岡崎 勉

- ★本別町特別養護老人ホーム備品購入費指定 金100,000円 ……向陽町 森岡 秋夫
- ★本別町公共施設等整備基金指定 金3,000,000円 ……南1丁目 朝日 基光
- ★本別町公共施設指定 焼き砂(4kg入り)1,000袋 ……音更町 道路工業株式会社十勝営業所 所長 星野 黒義明

みんなの健康

342



全身疾患と歯科

えたりした結果、3か月後には肝機能がほぼ正常になったというのです。

歯周病と心臓病・脳卒中・糖尿病との関係が解明されて、また日は浅いですが、高血圧・

腎臓病・蓄膿症・ある種のアレルギー等との関連性は昔から言われていました。また、かみ合わせが肩こり・腰痛・頭痛・めまい・生理痛等の症状と関係していることも指摘されています。このように、歯科疾患と全身疾患との関係がどんどん具体的にわかってきています。

賀陽歯科医院 院長 賀陽真哉

足寄町 足寄動物化石博物館 体験メニュー

足寄動物化石博物館では、さまざまな化石の石ころレプリカづくりやミニ発掘がいつでも体験できます。また、今年は干支の巳年にちなんでミニ発掘のクリスタルに「蛇紋岩」が加わりました。

- ミニ発掘(化石・クリスタル) いろいろな工具を使って、石の中から本物の化石またはクリスタルを掘り出します。掘り出した物は持ち帰ることが出来ます。所要時間は30分程度です。
- レプリカづくり デスモスチルスの歯・サメの歯・アンモ

陸別町



自然を満喫しよう
第19回 歩くスキーの集い
暖かい春の陽射しを受けながら、日産自動車テストコースを歩くスキーで楽しんでみませんか。

- とき 3月10日(日) 午前9時30分
- ところ 日産自動車(株)北海道陸別試験場
- 定員 100人
- 参加料 1人1,000円(予定)
- 申込期限 3月1日(金)
- 申込先・詳細 陸別町教育委員会 ☎2712123
- 詳細 足寄動物化石博物館 ☎2519100

銀河ホップアップ

足寄町・陸別町から

ナイトなど16種類の中から選ぶことができます。製作時間は40分程度です。

- 展示室観覧料
 - ・一般 400円
 - ・小・中学生、高校生、満65歳以上 200円
- ※幼児は無料です。団体でご利用される場合はお問い合わせください
- ※レプリカづくりとミニ発掘は材料費として200円がかかります
- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日が休館日)

本のある暮らし 143

戸籍のまど

お誕生

12月後半から
1月前半の
届出分

- 大和田結仁^{ゆいと}くん 幸治^{さち}さん 12/10 清流町
- 唯野竜獅^{りゅうし}くん 虎次^{こじ}郎^{らう}さん 12/16 東仙美里
- 齊藤歩睦^{あゆむ}くん 英治^{えいじ}さん 12/23 活 込
- 安達心咲^{あさき}ちゃん 淳也^{じゆん}さん 12/26 北5丁目

ご結婚

- (谷内田 俊文^{しゅんぶん}さん 向陽町
- (廣川 瑛美^{えいみ}さん 浦幌町

おくやみ

- 村井俊生^{しゅんせい}さん 72歳 12/15 新 町
- 佐藤平三郎^{へいざぶろう}さん 99歳 12/16 押 帯
- 綱島トシヨ^{としよ}さん 86歳 12/16 上仙美里
- 田西啓翁^{けいおう}さん 80歳 12/17 錦 町
- 鈴木カズエ^{かずえ}さん 74歳 12/18 美里別高東
- 南岡美枝子^{みえこ}さん 88歳 12/18 共栄 1
- 本寺ソトエ^{そとえ}さん 87歳 12/19 明 美
- 朝日 明^{あきら}さん 89歳 12/20 南1丁目
- 式見ヒサ子^{ひさこ}さん 80歳 12/20 美里別東上
- 長谷部喜助^{きすけ}さん 77歳 12/26 北8丁目
- 森 政子^{まさこ}さん 71歳 12/29 東 町
- 谷藤 ハル^{はる}さん 89歳 1/1 柏木町
- 高橋 ミネ^{みね}さん 90歳 1/3 美 栄
- 荒木 又造^{またぞう}さん 82歳 1/5 美里別西上
- 北原 安子^{やすこ}さん 87歳 1/6 向陽町

わたしたちのまち

前月比
 人 口 **8,081**人(-18)
 男 **3,969**人(-7)
 女 **4,112**人(-11)
 世帯数 **3,830**戸(-10)
 〔12月末日住民基本台帳〕

図書館春ごよみ

季節を楽しむ暮らし

図書館では月ごと、季節ごとに館内展示を行っています。
 今回は“春”をテーマに節分・バレンタインデー・ひな祭りの本をご紹介します。

節分



節分とは季節の分かれ目の意味。邪気を払い福を呼び込もうと豆をまき、イワシの頭を柊（ひいらぎ）の小枝に刺して戸口におき、悪鬼の進入を防ぐ風習もあります。



バレンタインデー



欧米では男女間だけでなく家族や友人にカードやプレゼントを贈ります。日本では女性から男性に愛を告白しチョコレートを贈ることが定着しています。

ひな祭り



桃の節句ともいわれる「ひな祭り」。ひな人形をかざり、ひなあられ、ひし餅、白酒で女の子の健やかな成長と幸せを願います。



★館内では、図書館ボランティアぶっくる作成のつるしびなも展示しています。皆様のご来館をお待ちしています。

お問い合わせ先
本別町図書館
 (愛称:ぶっくる一丸)
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112